

## 1年生 国語の課題（その2）

2020.4.13

4月8日（水）の始業式後に配布した「国語の課題」は順調に進んでいますか。もう4日が経過しました。先週の状況を振り返り、今週の予定を「今未来手帳」に記入しましょう。さて「国語」の課題（2）を連絡します。

### 【現代文】

教科書「技術が道徳を代行する時」

1 次の語句は調べてみましたか。調べてない人は追加で調べておこう。

①謳う ②涵養 ③手を打つ ④安寧 ⑤迂遠

2 段落分けはできましたか。意味内容から全体を3つの段落に分けることができます。

○第一段〔初め～九・6〕

○第二段〔九・7～一一・3〕

○第三段〔一一・4～終わり〕

それぞれの段落を要約すると、

○第一段 環境との共生を謳った愛知万博では、生分解性プラスチックでできた食器やゴミ袋を使うことで大量の二酸化炭素の排出が削減されたが、それとともに容器を使い捨てることの後ろめたさを薄れさせてしまった点で、道徳が技術に肩代わりされてよいのだろうか、という疑問が生じる。

○第二段 本来、私たちは自らの良心と行動によって地球環境を守るよう求められている。しかし、そのような道徳心の涵養でなく、技術によって地球環境に優しい行為が自動的になされるようになっていくことが増えている。そうした技術の発達により、私たちの体や頭脳の能力とともに道徳的な判断力も衰えていき、ただ技術が命じるままに行動しているだけになりかねない。

○第三段 人々の道徳心を涵養しなければ、社会は荒廃してしまうだろう。その意味で道徳を技術で置き換えることの危なさを考えておくべきではないだろうか。

☆自分で要約したものと比較して足りない部分は赤ペンで付け加えておこう。

1 自分の考えをまとめることはできましたか。本文の最後にある「道徳を技術で置き換えることの危うさ」について考えることはできましたか。関連して、北高HPにアップされている入学式の校長式辞にある「哲学を持つ」の部分を読み直してみよう。

4 《次の課題》

教科書12ページの〈漢字と語彙〉の漢字の問題もノートにやっておこう。

## 5 《次の課題予告》

教科書p26～37小説「羅生門」を読んでいます。

### 【課題テスト】

- 課題テストの問題はやってみましたか。まだの人は50分の時間を計ってやっておくこと。  
→解答用紙は提出課題です。(忘れずに登校日に持ってくること。)

### 【頻出漢字マスター3000】

- p4～9の漢字は書けるように練習しましたか。覚えるコツは繰り返し練習することです。  
練習終了後、もう一度書けるかどうか書いてみよう。できなかった漢字にチェックし、次の日もう一度練習しよう。

### 【古典】

皆さん、学習は進んでいますか？

8日に配られたプリントの内容が学習されていることを前提として進めていきます。では、古典の教科書p9の学習の手引きをやってみましょう。(一部、質問を変えています。)

- 1 現代の仮名遣いと違う語についてノートに書写した本文に線を引いてみましょう。歴史的仮名遣いがどれかわかりましたか？解答はあとでお知らせします。教科書p10・11を参考にして、自力で頑張りましょう。  
例えば、最初は 今は昔、忠明といふ検非違使ありけり。
- 2 「葩のもとに風しぶかれて、谷底に鳥のゐるやうに、やうやく落ち入りにければ」とはどのような様子を描いたものか、自分の言葉でわかりやすくノートに書きましょう。現代語訳は次回、アップします。場面をイメージしながら考えましょう。
- 3 「ひとへにこれそのゆゑなりとなむ思ひける。」とありますが、「これ」とはどのようなことですか？また、「そのゆゑ」とはなんですか？「 」の文から当時の人々のどのような思いが読み取れますか？
- 4 最後に、「検非違使忠明」はどんなお話でしたか？あらすじをノートに書きましょう。何回も音読をして、教科書の下の方の脚注を見たり、古語辞典を活用して自分で考えて答えましょう。

◇今回は1の答えだけアップします。それ以外は次回にアップしますので、しっかり取り組んでく

ださいね。(解答が終わってから見てください。途中ギブの人は見てもいいです。)

検非違使忠明

今は昔、忠明といふ検非違使ありけり。若男にてありける時、清水の橋殿にして、京童部といさかひをしけり。京童部、刀を抜きて忠明を立てこめて殺さむとしければ、忠明も刀を抜きて、御堂の方ざまに逃ぐるに、御堂の東の端に、京童部あまた立ちて向かひければ、その傍にえ逃げずして、藪のもとのありけるを取りて、脇に挟みて、前の谷に踊り落つるに、藪のもとに風しぶかれて、谷底に鳥のゐるやうに、やうやく落ち入りにければ、そこより逃げていにけり。京童部、谷を見下ろして、あさましがりてなむ立ち並みて見ける。

忠明、京童部の刀を抜きて立ち向かひける時、御堂の方に向きて、「観音、助け給へ。」と申しければ、ひとへにこれそのゆゑなりとなむ 思ひける。

忠明が語りけるを聞き継ぎて、かく語り伝へたるとや。(注 今回はひらがなの部分だけ触れました)